



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第21号

発行日 2014年7月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の美会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp
ホームページ http://dousou.ext.saga-u.ac.jp

編集代表者 中島道夫



会長就任挨拶

佐賀大学同窓会会長 金丸安隆 (農学部・S43年卒)

初夏の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、宮島会長の任期満了に伴う役員改選により佐賀大学同窓会長に選出されました。

本より浅学非才の身であり、とてもその任にあらずと固辞しましたが、集団指導体制の運営でとのこととお受けすることにいたしました。

これまで4年の副会長職にある間、遠くは東京、名古屋、沖縄なども含め佐賀大学同窓会の11県外支部総会に出席しました。いずれの支部でも、「個人情報保護」で同窓生の住所や勤務先などの把握が難しく、さらに同窓会といえども組織離れが年々進む中で、歴代の支部役員さん方は数十年にわたり大変なご苦勞をされて運営をされてきたことを痛感しました。それでも、参加された同窓生は元気溘刺と家族や健康、仕事、同窓生の話に花を咲かせ、旧交を温めておられます。そして、懇親会の終わりには、不知火寮歌の「巻頭言」と寮歌を歌い、踊られます。この懐かしい巻頭言や寮歌を知る同窓生は近年きわめて少なくなり、残念に思っていました。この巻頭言や寮歌を、佐賀大学の伝統文化として同窓会で保存、伝承できないでしょうか。今の学生たちにも、本庄キャンパスの大学祭や鍋島キャンパスの「むつごろう祭」で継承してもらえればありがたいと考えています。

さて、昨年9月28日に旧佐賀大学・佐賀医科大学統合10周年記念事業として総合大学では初

めての美術館が完成しました。また、正門エリアも整備され、そこにある佐賀大学碑と美術館は佐賀大学の新たなシンボルとして学生の記憶に強く刻まれることと思います。

佐賀大学は少子化や社会の変化に対応し、28年度には現在の文化教育学部は教育学部と芸術学部へと改組されます。さらに理工や農学部も改組の検討が進められるなど、生き残りを賭けて急速な改革が進展しています。農学部は来年60周年を、理工・経済学部は50周年、医学部は40周年を迎えます。この間、卒業生数は約54,756人(教育14,190人、経済12,103人、理工17,120人、農学7,187人、医学4,156人)に上り、全国各地、各分野で活躍されていることを誇らしく思います。

この多くの同窓会員の皆さんに、同窓会としてどのようなことができるのか。社会の変化や同窓会の現状にも配慮しながら取り組んでいきたいと思っています。そこで26年度春期定例役員会において、同窓会会則を大幅に改正し、さらに庶務、支部強化、学生支援、情報管理、会報発行の5つの専門部会を設置し、各部会で精力的に検討を進めることになりました。母校のますますの発展と同窓会の活動がより活発に行われるよう力を尽くしたいと考えています。

これからも同窓生皆様のご指導、ご鞭撻とご協力、ご支援をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



理事長就任に当たって

理事長 穂屋下 茂 (理工学部・S49年卒)

前理事長の田中正和氏が今年の1月に突然ご逝去されました。本当に惜しい人を失ってしまいました。同窓生一同、心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

その後を引き継いで、私が理事長を引き受けることになりました。任期は残りの1年でございます。同窓会を活発にするには、同窓生の皆様の協力なしには何事も達成することができません。未熟ではありますが、力の限り務めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

同窓会をもっと活性化すべく、会長をはじめ、役員の皆様は張り切っていらっしゃいます。同窓会活動の肝心要となります部会も、5つの部会（庶務、支部強化、学生支援、情報管理、会報発行）に再編し、部会長会議を経て代表役員会で同窓会活動を活性化させる仕組みができつつあります。これら5つの部会に主体的な同窓会活動を大いに期待したいと思います。

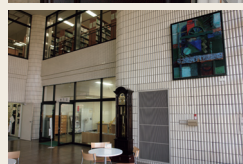
ご存知と思いますが、我らが母校「佐賀大学」は大きく変わろうとしています。平成28年度には新学部「芸術学部」が設立されることになり

ました。大学には美術館が平成25年度に設立され、手づくりを重視した古典的な美術・工芸、そしてICTを活用した新しいメディアデザイン等を学生は学ぶことができるようになります。

少子化に伴い、全入時代を迎え、学生さんの基礎学力が低下している現状において、学生のアウトカムズが非常に重要視されてきています。学長の強いリーダーシップの下、キャリアセンター、学習支援室、ラーニングcommonsなど、学生の学士力・就業力を充実させる環境も整いつつあります。

そのような中で、農学部は平成27年度には創立60周年、経済学部と理工学部は平成28年度には創立50周年、医学部は40周年を迎えます（教育学部は佐賀師範学校から数えると、平成26年度で126年とのことです）。このような母校の動きに対し、同窓会としても協力していく体制を整えるのが務めかと思われま。同窓会事務局もICTを活用した連絡網なども整備されていくこととなりますので、重ねてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

佐賀大学開学40周年記念の置時計について



昭和24年6月に佐賀大学が開学し、平成元年が開学40周年でした。

これまで節目の年に同窓会主催の記念行事が実施されており、40周年は農学部同窓会が当番で実施されました。

平成元年6月3日(土)にはがくれ荘（現在、グランデはがくれ）に於いて「開学40周年記念式典」やジャズダンスのアトラクション等、盛大に行事が執り行われました。

また、開学40周年に当たり、後世に記念になる品を残すことになり、置時計が大学へ寄贈されました。

現在、置時計は本庄キャンパスの佐賀大学附属図書館に置かれ、時を刻んでおります。

皆様も一度是非ご覧ください。

坂本 隆昭（農・S38年卒）

平成26年度春期定例役員会

新役員と事業計画、予算を決定

平成26年度春期定例役員会を4月17日(木)、佐賀大学「菱の実会館」で開催し、平成25年度事業報告・決算報告と平成26年度事業計画・予算案を承認した。

I. 平成25年度事業報告

1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」19・20号発行。佐賀大学広報「かちがらす」27・28・29号を会員に送付。

2. 事業活動

1) 支部総会への参加

会長、理事長はじめ各学部同窓会から出席

2) 佐賀大学との意見交換会

大学から10名、同窓会から12名参加

3) 校友会への校友会会費として

3,235,000円納入

4) 単位提供講座

「キャリアデザイン講座」にOB講師5名

5) 就職支援

平成25年11月13日(木)、就職内定者との懇談会

6) 第21回佐賀県青春寮歌祭

平成25年11月23日(土)、25名参加

佐賀大学混声合唱団15名応援参加

7) 開学祭支援事業

第16回本庄地区大学祭、第35回医学部むつごろう祭に資金援助

8) 懇話会〔学習会〕

平成25年7月18日(木)

第5回 講師 佐賀大学学長 佛淵 孝夫 氏

平成26年1月13日(月)

第6回 講師 前佐賀新聞論説委員 園田 寛 氏

II. 平成26年度事業計画

平成26年度事業の継続と充実を図る。

III. 平成25年度決算および26年度予算 (概要)

【単位：千円】

科目	25年度決算	26年度予算
収入の部		
前年度繰越金	7,703	7,496
収納金	14,421	12,881
雑収入	1	1
合計	22,125	20,378
支出の部		
運営費	5,602	7,130
業務・活動費	8,536	9,165
予備費	489	4,083
別途積立金	0	0
合計	14,627	20,378

平成26年度 佐賀大学同窓会役員名簿

役職	担当	氏名	卒業年学科	役職	担当	氏名	卒業年学科	役職	担当	氏名	卒業年学科
会長		金丸 安隆	農学・43農	理事	支部	江口 信義	教育・36中	理事	会報	釘本 勁	文理・44法
副会長		宮尾 正隆	教育・36美	〃	〃	荒木 弘幸	経済・57管	〃	〃	江村 正	医学・62医
〃		石丸 新	文理・44法	〃	〃	江口有一郎	医学・H6医	〃	〃	中島 道夫	理工・47化
〃		枝國源一郎	医学・H3医	〃	〃	椿 忠彦	理工・53物	〃	〃	光富 勝	農学・51農
〃		秋永 正幸	理工・45機	〃	〃	大坪 正幸	農学・59農	〃	〃	吉賀 豊司	農学・H2園
〃		川副 操	農学・44農	〃	学生	中島 範子	文教・H13学	監事		大庭 敏伸	教育・36中
理事長	庶務部長	穂屋下 茂	理工・49機	〃	〃	木塚 徳男	経済・60法	〃		福母 祐二	経済・H2経営
副理事長	会報発行部長	鶴 良樹	教育・37小	〃	〃	市場 正良	医学・61医	〃		松藤 彩	医学・H16看
〃	情報管理部長	長 安六	文理・44経	〃	〃	磯野 健一	理工・62工化	〃		前山 道明	理工・46機
〃	学生支援部長	佐藤 武	医学・59医	〃	〃	有馬 進	農学・52農	〃		松尾 正紀	農学・43農
〃	支部強化部長	白武 義治	農学・51農	〃	情報	中村 隆敏	教育・61美	顧問		関本 優	文理・31経
理事	庶務	堤 公一	教育・H6教	〃	〃	江口 邦子	経済・52経	〃		久間 善郎	文理・37法
〃	〃	江口 洋一	経済・48経	〃	〃	古島 智恵	医学・H11看	〃		宮島 豊秀	教育・35小
〃	〃	西村 知久	医学・H4医	〃	〃	米満 潔	理工・60化				
〃	〃	穂屋下 茂	理工・49機	〃	〃	田中 宗浩	農学・H4生				
〃	〃	重富 修	農学・59農	〃	〃	徳安 和博	教育・H2美	理事	事務局長	瀬戸口 悟	教育・44小

※庶務→庶務部 支部→支部強化部 学生→学生支援部 情報→情報管理部 会報→会報発行部

平成26年6月現在

佐賀大学と 佐賀大学同窓会との

意見交換会

定例の佐賀大学と佐賀大学同窓会との意見交換会が、4月24日(木)18:00より、ホテルニューオータニ佐賀において同窓会の主催で開催された。大学側からは佛淵学長をはじめ理事(副学長)、監事、事務局長、及び各学部長等、計11名の出席があり、同窓会側からは金丸会長はじめ、副会長、理事長、副理事長等、12名が出席した。進行は穂屋下同窓会理事長によって行われた。

はじめに、主催者として金丸会長の挨拶があり、本同窓会の現在の同窓会及び各支部総会の活動状況について、リストを提示して説明がなされた。また、文化教育学部における改組に始まり、今後他学部について進められる大学の改革に対する同窓会の協力について述べた。

佛淵学長からはスライドを準備され、医学部附属病院が計画的に整備されていること、病棟の新設、最新型医療器機の充実、DRヘリ…、窯業大学を組み特美の伝統を活かした地域に根ざし文教の学部再編に繋げられ詳しく説明された。

懇談の中、各学部の学部長から学部の状況と同窓会への期待についてお話をいただいた。

文化教育(平成28年度 教育学部、芸術学部(仮称)への改組等)、経済(平成25年度の改組お礼、学部と同窓会のコラボによる1年生向け講座開設等)、農(現役の学生と同窓会の交流を深める、学生を含めた総会懇親会等)、医学部長は九州地区の学部長、病院長の研究会で欠席された。

それに対し同窓会側からは：有朋(120年続く追悼絵、キャンパス婚、菱の実会館の道路標識等)、楠葉(50周年、佐大卒会計人会の新部会創設等)、医学部(宮崎、熊本、沖縄の集まりを支部へ、就職率100%等)、農学部(間もなく60周年、学部との協力によって現役の学生を同窓会に等)、理工学部(50周年、同窓生名簿の充実、学生支援「スタートアップセミナー」等)、各会長から活動状況の報告に加え各学部長の協力による在学学生への同窓会活動周知と卒業生の組織化の強化により在学学生に対する就職支援など、同窓会自身の組織強化とそれによる学部、大学の発展に対する寄与について語られた。

文責 中島 道夫(理工・S47年卒)



各学部とも節目の記念事業の案内を準備しております。連絡にご留意ください。

26年度春期定例役員会に参加して

東京支部 和田 紘一 (文理・S40年卒)

4月17日(木)に開催されました定例役員会に、オブザーバーとして参加しました。感じましたことは、総合大学として発展を続ける、最新の大学の様子・位置づけ等をほんの一瞬とはいえ、自分自身の“目”と“耳”で確認できたことは大変有意義でした。

また、本部役員の方々の同窓会への取り組み姿勢・活性化へ向けての意欲をまのあたりにし、身の引き締まる思いが致しました。

大いに元気をもらいました。

今後の支部の活動に生かしたいものです。

会議終了後の懇親会・二次会では和気あいあい

とした雰囲気の中で、本部・他支部の方々との話もはずみました。

また思いがけない出会いもあり、心身とも学生時代にかえり、若さを取り戻した気分です。本当に至福の時間でした。

当日の運営全般にかかわった関係者の皆様方に心から御礼申し上げます。



和田(右側)

有朋会(佐賀大学教育学部・文化教育学部同窓会)婚活イベント

キャンパス 婚

タイトルを見て、いったい何のことだろうと思われた方も多いことでしょう。大学で結婚式？と思われた方もいるかもしれませんが。今回のイベントは、晩婚化、少子化とともに、卒業生の同窓会離れが課題となっているなか、男女の出会いの場をつくるとともに、卒業生のつながりを広げようという意味合いも込めて企画したものです。

第1弾は、今年の3月1日に開催しました。一般の方を含めて、男性5名、女性10名が参加しました。はじめにキャンパス内のウォークラリーを開催し、菱の実会館から美術館まで学内をぐるりと散策するコースを巡り、男女の交流を深めました。佐賀県の418（しあわせいっぱい）プロジェクトの助成を受けて招待した、文化教育学部同窓生である弓削田健介さんによるキーボードの生演奏も会場内の雰囲気盛り上げました。弓削田さんは、放浪の合唱作曲家として、全国を旅しながらコンサートや楽曲提供をしています。ミニコンサートで素敵な歌声を響かせ、なんと当日の一番人気は弓削田さんでした。

これから紹介するのは、「佐大で素敵な出会いと学びを」をテーマとして開催する第2弾のキャンパス婚企画です。

第1部の「恋にも仕事にも役立つコミュニケーション講座」では、青柳達也さんを講師としてお迎えします。青柳さんは、古賀英語道場代表や、さがドラマスクール主宰、多久ミュージカルカンパニー演出・脚本などをされています。キャンパス婚に参加すれば、異性とのコミュニケーションはもちろん、仕事でも生かすことのできるコミュニケーションスキルを高めることができ、自分を表現する能力を開

花できること間違いなしです！

お盆休み前の週末、キャンパス婚に参加して、お盆休みを楽しむ相手を見つけるなんていかがでしょう。職場でも是非お声かけください。

- 【日 時】** 2014年8月9日(土)
10時～14時半（受付9時半～）
- 【会 場】** 本庄キャンパス菱の実会館（同窓会館）
- 【対 象】** 20～40代の独身男女
※有朋会員または会員からの紹介者
- 【定 員】** 男性15名、女性15名（先着順）
- 【参加費】** 2,000円
- 【プログラム】**
1. 恋にも仕事にも役立つコミュニケーション講座
 2. ランチタイム
 3. ゲーム&交流タイム
 4. マッチングタイム

参加を希望する方は、下記をご記入の上、有朋会事務局宛にメール（dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp）またはFAX（0952-25-5700）にて、7月31日までに申し込みください。

- 名前（ふりがな）、性別、〒自宅住所、携帯電話番号、PCメールアドレス、勤務先、生年月日（レク保険加入のため）
- 〈有朋会員〉 学籍番号または入学年
- 〈有朋会員外〉 紹介者の勤務先と名前

皆様の参加、あるいはご紹介を有朋会役員一同、心よりお待ちしております。

文責 中島 範子（文教・H13年卒）



平成26年度楠葉同窓会開催!

H26.5.24

平成26年度楠葉同窓会が、去る5月24日(土)午後4時から、佐賀ワシントンホテルプラザで各支部代議員のご出席を得て盛大に開催されました。

●同窓会総会

初めに石丸同窓会会長の挨拶として、まず平成25年度事業のうち「佐賀大学美術館設置に伴う募金活動」において各位から多大のご協力が寄せられたことについて謝意を述べられるとともに、来年度経済学部発足50周年を迎えるに当たっても、関連事業について同様のご協力を頂きたい旨お願いがなされました。

続いて審議に入り、まず平成25年度事業報告及び決算報告が一括してなされ、これに関連しての監事監査報告の後、異議無く了承されました。

次に、平成26年度事業計画及び予算案についても一括して異議無く了承されました。

なお、この中で平成26年度同窓会懇親会は佐賀大学美術館で行うことが了承されました。また、役員のうち、永らく顧問をお務め頂いた同窓会初代会長久原直行様 (S24入・経済) がご逝去されたことが報告されました。

続いて、別室において支部活動の強化を図るため、各支部からの現状報告及び質疑応答がなされました。



●懇親会

懇親会は、関西支部陶山良夫氏 (S24入・経済) による「乾杯」の音頭で始まり、支部運営の難しさや学生時代の思い出などで大いに盛り上がりました。その後、懐かしい校歌斉唱で肩を組み、最後に東京支部岩村竜也氏 (S54入・経営) による万歳三唱で有意義に閉会しました。



平成26年度楠葉同窓会懇親会について

実行委員会委員長 山口 祥之 (経済・H2年卒)

今年度の楠葉同窓会懇親会は、例年と会場を変更し、下記開催要領で実施します。

今回の特色は、

- ① 楠葉同窓会も募金協力した佐賀大学美術館が昨年10月にオープンしたことから、同美術館併設のカフェで懇親会を開催します。美術館や耐震工事で新しくなった佐賀大学を見ることができます。
 - ② 懇親会開催前に、佛淵孝夫学長に佐賀大学美術館等についての講演会をお願いしています。
 - ③ 経済学部の学生 (3年生) を招待する予定
- の3点です。多数のご参加をお願いします。

〔開催要項〕

- 1 日時 平成26年8月30日(土) 17:00~
- 2 会場 佐賀大学本庄キャンパス 佐賀大学美術館・併設カフェ「ソネス」
- 3 日程
 - ① 佐賀大学 佛淵孝夫学長講話 17:00~17:45
演題「佐賀大学美術館等について」 会場：美術館スタジオ
 - ② 懇親会 18:00~ 会場：佐賀大学美術館併設 CAFÉ SONESS (カフェ ソネス)

卒業生へのメッセージ

—物理科学科の現況—

18



物理科学専攻 専攻長 遠藤 隆

物理科学科（物理学科）、物理科学専攻（物理学専攻）の卒業生の皆様には、様々な分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。また日頃より、ご支援を賜り、感謝しております。この会報で、物理科学専攻・物理科学科の現状についてご報告する機会をいただき、ありがとうございます。

佐賀大学は、「面倒見のいい大学」を目指しています。その中で、どちらかというと自由放任の気風のあった物理科学科も、学生と教員のコミュニケーションがますます重視されるようになってきました。

物理科学科では、10年前から「学科ニュース」をほぼ毎月配布して、物理の考え方や将来を考える上で参考になりそうな情報を提供したり、最近では、ホームルームのような時間を設けたりしています。（写真は、佐賀県立九州シンクロトロン光研究センターに見学に行ったときのものです。）このような取り組みの結果かどうか分かりませんが、自主ゼミを呼びかける学生や、学科を盛り上げるために自発的に動く学生も現れています。こういった傾向が続けば、学生の適性にあった進路選択や、目的意識を持った学習態度、その結果として、留年率の低下と就職率・進学率のアップにつながるのではないかと期待しています。

平成25年度入学の学生からは、教養教育のカリキュラムが変わりました。物理科学科では、従来通り、学士力の基礎となる教養教育を重視しています。物理科学科で学んだことが、進路によっては必ずしも直接的に役立つことはないかもしれませんが、物事を事実に基づいて論理的に推論し、合理的に判断

し、現実的に解決策を考案する力は、どのような分野でも役に立つでしょうし、広い教養は社会人として重要であるばかりでなく、創造的な仕事をする上でも様々なヒントを与えてくれる基盤的知識だと思っています。各教員は、そういうことを意識しながら卒業研究などの指導にも当たっています。また高校などで物理の教師になる学生もいるので、そのための個別指導をすることもあります。

また、研究面では、物質や宇宙の究極の姿を追い求める理論や実験、物質の性質を明らかにし新規性のある物質を開発する研究など、幅広く成果を挙げています。研究のアクティビティの高い教員が多いことが、専攻・学科全体の活力の源泉にもなっています。

同窓会の諸先輩方には、就職活動などでお世話になることが多いと思いますが、大学時代に学んだことや経験したことが、どのように社会で活かすことができるか、また、そのためには、どのような姿勢で学生時代を過ごしたら良いのか、機会があればご教示いただきたく思います。



菱実会「総会・懇親会」のお知らせ

日時：平成26年9月6日(土) 17:00～

場所：佐賀大学「菱の実会館」多目的室

出席の際は、氏名、学科名、卒業年度を同窓会事務局までお知らせください。

E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp TEL: 0952-23-1253 FAX: 0952-25-5700

「アグリ創生」 ～美味しさから健康まで～

農学部附属アグリ創生教育研究センター長 有馬 進（農学部・S52年卒）

アグリ創生教育研究センター長を拝命しました有馬です。本センターは、農業研究と生産現場を繋ぐ農業最前線の教育研究を行います。「アグリ創生」という名称ですが、アグリはもちろん農業です。農業を発展させるとともに、その中から、さらに新しいものを作り出そうという意味の、「創生」というコンセプトで活動しています。農業は、本来、人間が生きるための、衣・食・住をはじめ、経済、医療あるいは芸術まで、幅広い要素を含んでいます。ですから、農業の持つ機能やシステムを見直して、それをベースとして新しい世界への挑戦を目指しています。全国大学初の「有機JAS認証」獲得や日本初のグレープフルーツ品種「さがんルビー」育成などで地域貢献を行う一方、昨年からは、農業が持つ「癒し」や「健康増進」の機能に着目し、医学部・教育学部の先生方とともに、アグリセラピーやアグリ医療などの新たな取り組みを始めています。

本センターは、農学部の附属農場（現：センター本部）と海浜台地生物環境研究センター（現：唐津キャンパス）が統合して、平成24年に発足しました。スタッフには、農学部の1学科に相当する、専任教員8名、併任教員1名、技術職員5名、事務職員1名、非常勤職員7名、非常勤研究員2名を擁し、農

学部の重要な一翼を担っています。本部には、水田、畑、牧草地、温室、家畜舎、果樹園があり、泊まりこみで農業実習ができる宿泊施設もあります。唐津キャンパスは、日本三大松原の「虹の松原」の傍で、研究棟・温室・圃場があり、佐賀県北西部の農水産業を支援するとともに、韓国・中国の農水産業や環境保全を見据えた研究を展開しています。

本センターでは、一年を通じて、いろいろな野菜や果物などの栽培、また牛や豚などの家畜を飼育しています。佐大生は、ここで農業の研究と体験実習を行います。私も40年前、当時の附属農場で「農場実習」の単位を頂きました。収穫したブドウ・ナシ・クリ・ビワ・カキ・温州ミカン・各種晩柑など果物類、メロン・トマト・ウリ・キュウリなどの果菜類、新米のおにぎり、蒸かしたサツマイモ、新茶、香味良いハム・ソーセージ、搾りたて牛乳など、小規模農場ながらも実習での試食メニューは豊富でした。本センターは、美味しさが満載です。また、農業者教育講座や一般市民講座（野菜栽培など）も開講しております。

佐賀大学卒業生の皆様方には、アグリ創生教育研究センターの今後の活動をご期待頂くとともに、ご指導ご鞭撻を賜ることができましたら幸いです。



「さがんルビー」のリキュール

..... 実習アルバム



同窓生の職場 22

佐賀県立高志館高等学校



本校は佐賀市大和町尼寺、長崎自動車道の佐賀大和インターの南に位置し、昭和9年に佐賀県立佐賀農芸学校として開校した。開校時、佐賀師範学校内(佐賀市赤松)に仮住まいし、当時の生徒や教職員は現在地(大和町尼寺)に、新校舎や農地を造成するために桑畑等を開墾した。昭和8年末、廃校になった佐賀県立商船学校(三重津海軍所跡地)の瓦や柱等をリアカーで川副町早津江から舗装されていない道を生徒たちが運び校舎建築に協力した。これを、当時の佐賀県知事、藤岡長和氏(俳号:玉骨)が、「陽炎や には里 小野乃 石拾い」と詠み感動を表現している。

幾多の変遷を経、校名を校訓「高志潔心」から佐賀県立高志館高等学校へと変更した。現在の学科は園芸科学科、環境緑地科、食品流通科の3学科1学年3学級であり、定員は120名の農業高校である。園芸科学科の専門教科は野菜・果樹・有機農業・生物活用・植物バイオテクノロジー等、環境緑地科は測量・農業土木施工・農業土木設計・造園技術等、食品流通科は食品製造・食品流通実践・食品化学・微生物利用である。授業は実験や実習を多く取り入れ、「分かる」から「できる」の質の高い教育を実践している。部活動はアーチェリー部や

ボクシング部が全国高校総体の常連校であり、近年、野球部や陸上部等も県内で頭角を現してきた。農業クラブ競技大会では、意見発表やプロジェクト発表の発表部門、農業鑑定競技等の技術競技部門でも高い成績を取っている。

卒業生の進路状況は50%が県内企業就職や自営、10%が県外就職、40%が進学であり、進学先の多くが県内及び近郊であり、きめ細かな進路指導で8年連続、進路実現率100%を達成している。地方の急速な少子高齢化や人口減少が課題となっている中、本校は有為な産業人を地元へ輩出し、地元で持続可能な活力を残す高校として、今後、注目をあびる学校であると考えている。本校には佐賀大学同窓生が、国語、社会、理科、英語、農業と幅広い教科に20名おり、学校の中核となっている。

最後に、教育は人づくり、国づくりの根幹をなす仕事であり、非常に魅力的な仕事でもある。佐賀県教員の年齢構成は、40代後半から50代が多く、現役の学生には是非とも教職免許を取得し、「佐賀県」の教員となり、教育県佐賀の教育を担っていただきたい。今は教員になる絶好のチャンスである。関心のある方は教職免許を取得し、教員採用試験にチャレンジしてくれることを期待している。

写真は、佐賀県が進めている先進的ICT利活用授業の写真である。 荒木 清史(農化・S54卒)



電子黒板による授業(画像を学習用PCに送る)



学習用PC(生徒は送られた教材にペンで確認)

★ ★ ★ 写真を探しています。 ★ ★ ★

この数年、学校ではあっちこちで耐震工事が行われ、校舎の外観もかなり変化しています。昔を知る人には様変わりかもしれません。

同窓会では、思い出深い学び舎を中心に、デジタル資料として保存しておきたいと作業を始めました。皆様がお持ちの写真を送っていただくと貴重な資料として保存致します。写真は、作業が済み

次第お手元にお返し致します。

会員の皆様のご協力をお願いします。

佐賀大学同窓会庶務担当理事より

送り先 佐賀大学同窓会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 菱の実会館内

TEL 0952-23-1253 FAX 0952-25-5700

E-mail dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp

佐賀大学広報誌「かちがらす」 30号より

従来、同窓会報「楠の葉」を発送の折り「かちがらす」を同梱してお届けしておりましたが、諸般の事情により、同梱できなくなりました。そこで、主な記事をこの頁で紹介します。なお、詳しくは、大学のホームページをご覧ください。

医学部附属病院新棟完成



◀南診療棟

平成25年秋に、医学部附属病院再整備の第1ステージとして、「南診療棟」「北診療棟」及び「診療支援棟」の3つの新棟が完成し、年末の移転後に運用を開始しています。写真は南診療棟です。1階は医療施設において極めて重要な機能的特性を持つ救命救急センター、2階には集中治療部門、3階には手術部門を設置。屋上にはヘリポートが設置されており、佐賀県ドクターヘリ事業の基地局として運用が開始されています。



また、9室ある手術室のうち、3D内視鏡対応手術室には、可変色LED光源を備えたことにより、術前の患者さんへの配慮がなされます。また、医療支援用ロボット「ダヴィンチSi」も設置されました。



◀3D内視鏡対応手術室



◀ハイブリッド手術室

佐賀県立窯業を佐大に統合化

生まれも育ちも異なる佐賀大学と佐賀県立有田窯業大学校が一緒になるためには、相当困難な作業が予想される中、地域の協同体制により取り組み、地方大学としての特色を出しながらミッションを果たそうと動き始めました。



古川知事と佛淵学長

有田焼創業400年を迎える平成28年に、窯業に関する新たな教育課程を有田キャンパスとして創設するための実務者レベルの検討が開始されました。



◀有田窯業大学校中庭

大好評の母校のお酒

新宿高島屋で開催される「大学は美味しい!!」フェアにもラインアップされた母校の純米大吟醸「悠々知酔」。春期定例役員会懇親会でも、大好評でした。すぐに売り切れるのが難点ですね。



配摺り作業

▶次のような記事も掲載されています。

- 音楽教育講座の紹介
- バイオ3Dプリンターで臓器を作る
- 多機能車椅子がものづくり日本大賞受賞
- コンテンツデザインコンテスト受賞紹介
- 熱気球部、女子サッカー、救急医療サークルの紹介
- 美術館設置寄付のお礼と更なる依頼

支部だより

鹿児島県支部総会・懇親会

平成26年1月25日午後6時から、鹿児島市内のホテル「レクストン鹿児島」において、鹿児島県支部の総会及び懇親会が開催された。本部から宮島佐賀大学同窓会会長と各学部同窓会の代表者5名のご参加をいただき、県内各地から駆けつけた支部会員13名（うち女性4名）の出席のもと、再会を喜び語り、楽しい集いとなりました。

総会は、まず支部長が、挨拶に引き続いて、去年の支部会費残り佐賀大学美術館の建設に50,000円寄付したことが披露され、出席者の同意を得ました。続いて、恒例により、宮島会長から本部を代表して、佐賀大学や大

学同窓会の近況、昨年完成した美術館の紹介と報告をうかがい、出席者一同、母校を取り巻く教育環境の発展の姿に想いを馳せるとも、今後の母校の発展に更なる期待を寄せております。

懇親会の席では、出席者それぞれが学生時代の思い出や、人生の喜怒哀楽を含めた自己紹介と近況の報告を行い、酒盃を交わしながら歓談し、少人数を忘れるかのような賑やかな、有意義な懇談会となり、さらに恒例により二次会へと足が進みました。

支部長 上田 耕平 (文理・S39卒)



葉隠会 (佐賀大学昭和41年卒同期会 福岡近辺在住)

今回は2月14日(金)博多座裏の「たつみ寿司本店」で開催。参加者18名、残念なことに昨年11月に高橋司君が死去。ご冥福を祈りたい。学生時代の彼の姿が目には浮かびます。さて今年はソチオリンピック、パラリンピック。日本選手も大活躍し多くの国民を楽しませてくれた。6年後東京オリンピック、パラリンピック。古稀を過ぎた会員と共に元気で迎えたいものです。その為にも同期の友との絆を大事にするつもりです。佐賀からいつも参加してくれる百武英明君(はもと楠葉同窓会理事)はインド旅行中(3週間)で今回欠席であった。次回は彼のインド旅行記でも聞きたいものだ。また今年も春以降はゴルフ泊旅行や夏場の景気弘等飲み会も企画したいなあ。関西や東京への出張等の折を見つけ佐大同級生と再会等する機会もつくりたい。先日久し振りに松本忠雄君(日立造船OB)と電話連絡出来た。4月11日には奈良県在住の小山松信君(シャープ(株)OB)と大阪で再会予定。

今回も写真趣味の鍋島辰男君(福岡シティ銀行OB)

による集合写真、スナップ写真を記念品とすることが出来た。会員へ配布して喜ばれています。今後も宜しくお願いします。



昨年10月2日佐賀大学美術館(ささやかに寄附致しました)オープン行事に参加し、帰路楠葉同窓会本部も訪問した。事務局の女性スタッフ篠崎さん、末次さんに日頃のお世話を感謝しつつ歓談出来たことを喜んでおります。

来年は佐賀大学卒業後50周年、百武君は記念同期会を佐賀でやると意気こんでいる。開催に協力し是非盛り上がり期待したいものだ。関西や東京など全国に散らばった同期の皆さん積極的にご参加をお願いします。

代表世話人 白石 豊彦 (文理・S41卒)

恩師情報……この一年

平成25年7月～26年6月までの動向を掲載します(敬称略)

定年退職 (平成26年)

吉中 幸平 文化教育学部教授
 福本 敏雄 文化教育学部教授
 田中 豊治 文化教育学部教授
 水沼 俊美 文化教育学部教授
 佐々木 揚 文化教育学部教授

South Coleman Terrel 全学教育機構准教授
 濱崎 雄平 医学部教授
 松島 俊夫 医学部教授
 酒見 隆信 医学部附属地域医療科学研究センター教授
 外尾 一則 大学院工学系研究科教授
 平良 豊 大学院工学系研究科教授

古賀 憲一 大学院工学系研究科教授
 新井 康平 大学院工学系研究科教授
 上原 健 大学院工学系研究科教授
 中村 博吉 大学院工学系研究科准教授
 野瀬 昭博 農学部教授
 門出 政則 海洋エネルギー研究センター教授
 青木 歳幸 地域学歴史文化研究センター教授

訃報

謹んでご冥福をお祈りします。

飯盛 末夫 佐大名誉教授 (教育学部) 平成25年12月25日
 久保山 千秋 佐大名誉教授 (経済学部) 平成26年4月2日
 古味 堯通 佐大名誉教授 (教育学部) 平成26年5月24日